

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は定額法により実施している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	-	-	20,000,000
小 計	20,000,000	-	-	20,000,000
特定資産				
運営基金積立金	13,000,043	5,005,944	-	18,005,987
PG教本出版費積立金	-	2,400,000	-	2,400,000
小 計	13,000,043	7,405,944	-	20,405,987
合 計	33,000,043	7,405,944	-	40,405,987

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	-	20,000,000	-
小 計	20,000,000	-	20,000,000	-
特定資産				
運営基金積立金	18,005,987	-	18,005,987	
PG教本出版費積立金	2,400,000	-	2,400,000	
小 計	20,405,987	-	20,405,987	
合 計	40,405,987	-	40,405,987	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
JDC会員システム	3,234,030	646,806	2,587,224
合 計	3,234,030	646,806	2,587,224